

## 1 この科目の構成について

教 科	英語	科 目	英語コミュニケーションⅠ	単 位	4単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	1年3～5組		
使用教科書	BIG DIPPER English Communication I (数研出版)				
使用副教材	BIG DIPPER ベーシックノート(数研出版)、キクタン Basic4000(アルク出版)、総合英語 Vision Quest(啓林館)				

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	<p>「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を関連させ、積極的に英語コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する科目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに必要な単語や熟語、文法の習得を目指します。</li> <li>・各単元の内容・構成から、学習者が多様な知識と教養を身に付け、主体的に社会形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。</li> </ul>
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	<p>①高校での学習の基本は授業です。先生の話をよく聞く。大事なところを確実にノートに書きとる。辞書をたくさん使う。宿題をしっかりとやる。課題をきちんと提出する。これらのことを着実にこなせば、どんどん英語の力はつきます。特に、中学時代に英語が苦手だった人は、初心に帰って「授業を大切に」から再出発しましょう。</p> <p>②次の授業に備えての予習やその日に学習したことの復習は、英語学習に不可欠です。毎日机に向かい、教科書を開く。その習慣を身につけましょう。</p> <p>③定期考査の準備は、時間をかけて精一杯やりましょう。テスト対策は、学習したことを確実に身につけるための最高の機会です。しっかり準備すれば高得点に結びつきます。高得点は自信を生みます。「準備→高得点→自信」、このサイクルを手に入れましょう。</p> <p>④月に2時間ALTによる授業を行います。身近な事象に関して、活動を通じて英語で表現する練習をします。</p>
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	<p>(1) 学校 「学習の基本は授業」であることを自覚し、先生の話をよく聞く。大切なところはメモを取る。辞書を積極的に活用する。宿題はしっかりとやり、提出物は期限を守って提出する。当たり前の事を当たり前に行っていれば良いのです。そしてアクティビティの場面では自ら積極的に楽しんで下さい。</p> <p>(2) 家庭 ベーシックノートを活用した予習、また音読を中心とした復習は毎日欠かさず行い、暗記して何も見なくても英文が言えるまで高めましょう。単語帳はキクタンの音声データをダウンロードして、何度も聞いて音読しクイックレスポンスを心掛けましょう</p>

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	定期考査60% 授業に対する取り組み10% 課題提出20% 毎週実施の英単語テスト10%
評価における定期考査の割合	
	60%

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	<p>(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 単元の内容に関する問いに対して自分なりの答えを発言しようとする 単元の内容に関する感想を発表したり、他の生徒の発表を聞こうとする</p> <p>(2) 表現の能力 単元の文法項目や知識を用いて、正しい文を書くことが出来る 各パートの内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることが出来る</p> <p>(3) 理解の能力 単元の文法項目を用いて、正しい文を書くことが出来る 単元の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることが出来る</p> <p>(4) 言葉や文化についての知識・理解 単元の文法項目とその用法を理解している 単元の内容をについて理解している</p>

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点				
期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	言
1	4	Lesson 1 High School Life at Home and Abroad (8時間)	<p>[コミュニケーション]</p> <p>本文を読んだ後に、ペアワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかりと聞こうとしたりする。</p> <p>[表現]</p> <p>現在形、過去形、未来を表す表現、現在進行形・過去進行形を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>ある事象の利点、欠点について理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>現在形、過去形、未来を表す表現、現在進行形・過去進行形の用法を理解している。</p>	●		●	
	5	Lesson 2 Giant Pandas: Every Favorite (8)	<p>[コミュニケーション]</p> <p>本文を読んだ後に、ペアワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかりと聞こうとしたりする。</p> <p>[表現]</p> <p>SVC(C=名詞・代名詞・形容詞), SVO(O=名詞・代名詞・動名詞・不定詞), 動名詞, 不定詞を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>パンダの生態や取り巻く環境について理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>SVC(C=名詞・代名詞・形容詞), SVO(O=名詞・代名詞・動名詞・不定詞), 動名詞, 不定詞の用法を理解している。</p>	●	●		
	6	Lesson 3 Yanase Takashi: The Creator of Anpanman (8時間)	<p>[コミュニケーション]</p> <p>アンパンマンややなせたかし、または自分の好きなマンガなどについて、知っていること・思っていることを発言しようとする。</p> <p>[表現]</p> <p>受動態, SVOO, SVOC, SVO(O=that-節, wh-節, 疑問詞+to-不定詞)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>アンパンマンの特徴や背景を理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>受動態, SVOO, SVOC, SVO(O=that-節, wh-節, 疑問詞+to-不定詞)の用法を理解している。</p> <p>『アンパンマン』に込められたやなせの「真のヒーロー」についての思いを理解している。</p>	●	●		
	7	Lesson 4 The History of the Telephone (8時間)	<p>[コミュニケーション]</p> <p>ペアワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかりと聞こうとしたりする。</p> <p>[表現]</p> <p>現在完了, 関係代名詞(who, which, that), 分詞の形容詞用法(現在分詞, 過去分詞)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>現在の携帯電話まで移動電話の歴史や携帯電話によって起こりうる不都合な点を理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>①現在完了, 関係代名詞(who, which, that), 分詞の形容詞用法(現在分詞, 過去分詞)の用法を理解している。②携帯電話のメリット/デメリット, もしくは自分と携帯電話の適切な関係について理解している。</p>	●		●	
2	8	Function 2 Can You Tell Me How to Get to the Ballpark? (1時間)	<p>[コミュニケーション]</p> <p>内容を踏まえ、その状況に適した設定で対話に取り組もうとする。</p> <p>[表現]</p> <p>[依頼する/許可を求める]の表現を用いて、正しい文を話す/書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>会話の流れやポイントを理解することができる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>①[依頼する/許可を求める]の表現の用法を知っている。 ②会話独特の言い回し, 決まり文句を知っている。</p>	●			●

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	コ	表	理	言
2	8	Lesson 5 Universal Design: Why Is It Important for You? (12時間)  道徳教育を行います。	[コミュニケーション] 身近にあるユニバーサルデザインの製品や設備について、知っていることを発言しようとする。 [表現] 形式主語<It is ~ to do ...>, 比較(原級, 比較級, 最上級)を用いて, 正しい文を書くことができる。 [理解] ユニバーサルデザインについて理解し, 出発点となる考え方について理解できる。 [言語・文化] ① 形式主語<It is ~ to do ...>, 比較(原級, 比較級, 最上級)の用法を理解している。② ユニバーサルデザインの主旨と出発点となる考え方について理解している。	●		●	
	9	Lesson 6 J. K. Rowling: Everyone Has Hidden Power (12時間)  第3回定期考査	[コミュニケーション] 「ハリー・ポッター」シリーズや作者のローリングについて, 知っていることを発言しようとしたり, 相手の発表をしっかりと聞こうとしたりする。 [表現] would, used to, 過去完了, SV0+to-不定詞を用いて, 正しい文を書くことができる。 [理解] 「ハリー・ポッター」のアイデアのもととなったローリングの経験について理解し, 「魔法」を通して表現したかったことについて理解できる。 [言語・文化] ① would, used to, 過去完了, SV0+to-不定詞の用法を理解している。② 「ハリー・ポッター」の世界的な人気の広がりやローリングが作品に込めた思いについて理解している。	●		●	
		Function 3 What a Lovely Bag You Have! (1時間)	[コミュニケーション] 内容を踏まえ, その状況に適した設定で対話に取り組もうとする。 [表現] [興味・関心を示す/ほめる/感謝する]の表現を用いて, 正しい文を話す/書くことができる。 [理解] 会話の流れやポイントを理解することができる。 [言語・文化] ①[興味・関心を示す/ほめる/感謝する]の表現の用法を知っている。②会話独特の言い回し, 決まり文句を知っている。	●			●
	10	Lesson 7 The Bicycle: An Old Friend and a New Friend (12時間)	[コミュニケーション] 自転車を利用するメリットや自転車に関する問題とその解決策について, 知っていることを発言しようとしたり, 相手の発表をしっかりと聞こうとしたりする。 [表現] 分詞構文(現在分詞), SVOC(C=現在分詞), SVOC(C=原形不定詞)を用いて, 正しい文を書くことができる。 [理解] 自転車の利点や自転車利用を奨励する具体的な取り組みや問題点を理解し, 海外における解決策について理解できる。 [言語・文化] ①分詞構文(現在分詞), SVOC(C=現在分詞), SVOC(C=原形不定詞)の用法を理解している。② 自転車の利点・問題点とその解決策に関する事実について理解している。	●	●		

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	コ	表	理	言
2	11	Lesson 8 From Child to Adult: When Do You Change? (12時間) 道徳教育を行います。	[コミュニケーション] 未成年と成人の違いや大人らしい人と子どもっぽい人の違いについて、自分の意見を言ったり、相手の意見をしっかりと聞こうとしたりする。 [表現] 関係副詞(when, where), 形式主語<It is ~ that ...>, つなぎ表現を用いて、正しい文を書くことができる。 [理解] 人は経験を重ね大人になっていくことを理解したり、日本で成人年齢を引き下げることに対する意見について理解できる。 [言語・文化] ①関係副詞(when, where), 形式主語<It is ~ that ...>, つなぎ表現の用法を理解している。②未成年と成人の違い、大人らしい人と子どもっぽい人の違いについて理解している。	●		●	
	12	第4回定期考査					
3	1	Function 4 I'm Really Happy (1時間)	[コミュニケーション] 内容を踏まえ、その状況に適した設定で対話に取り組もうとする。 [表現] [感情を表す/同情する]の表現を用いて、正しい文を話す/書くことができる。 [理解] 会話の流れやポイントを理解することができる。 [言語・文化] ①[感情を表す/同情する]の表現の用法を知っている。②会話独特の言い回し、決まり文句を知っている。	●			●
	2	Lesson 9 Food Miles: Where Does Our Food Come From? (12時間) 第5回定期考査	[コミュニケーション] フードマイルズや日本の輸出入について自分の意見を話したり、相手の意見をしっかりと聞こうとする。 [表現] 助動詞を含む受動態、関係副詞(how, why), 仮定法過去を用いて、正しい文を書くことができる。 [理解] フードマイルズの考え方や日本で消費される食品の多くが輸入されたものであることを理解し、現在直面している問題点を理解できる。 [言語・文化] ①助動詞を含む受動態、関係副詞(how, why), 仮定法過去の用法を理解している。②「フードマイルズ」の考え方および日本と諸外国との輸出入に関する事実について理解している。	●	●		
3		Lesson 10 Logical Thinking: A Skill for World-class Players (12時間):	[コミュニケーション] 海外で活躍するスポーツ選手や論理的思考について関して自分の意見を話したり、相手の意見をしっかりと聞こうとする。 [表現] 間接疑問、関係代名詞 what, one・another・other, 強調構文<It is ~ that ...>を用いて、正しい文を書くことができる。 [理解] 世界的なスポーツ選手にはスポーツの技術以外に必要なことがあることを理解し、練習に対する意識や論理的思考について理解できる。 [言語・文化] ①間接疑問、関係代名詞 what, one・another・other, 強調構文<It is ~ that ...>の用法を理解している。②論理的思考の重要性とその具体的な訓練方法について理解している。	●		●	